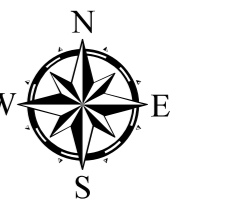
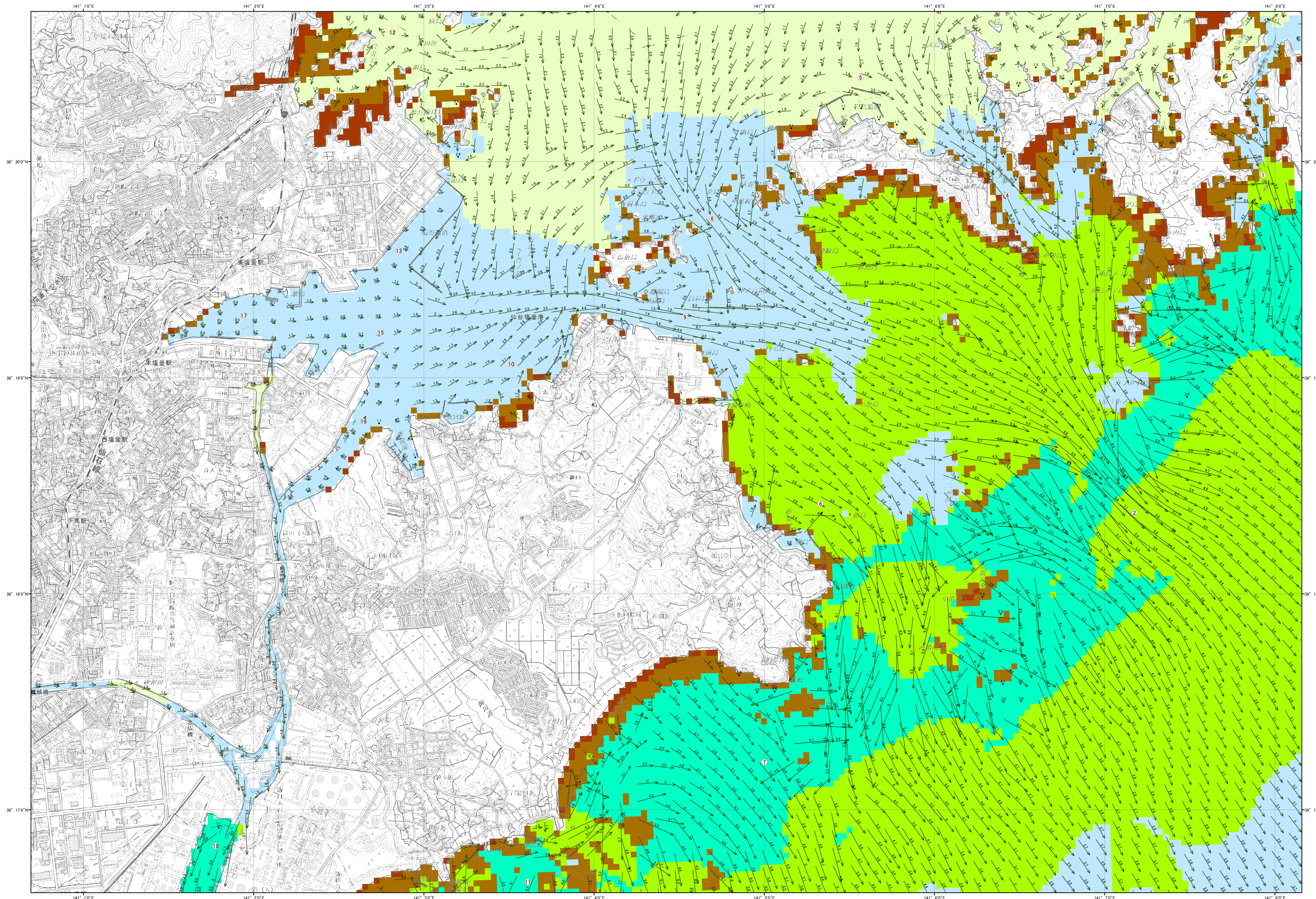


計算条件：最低水面(零位)  
隆起量：平均 -0.01m(-0.02m ~ -0.01m)  
Z0：0.92m  
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

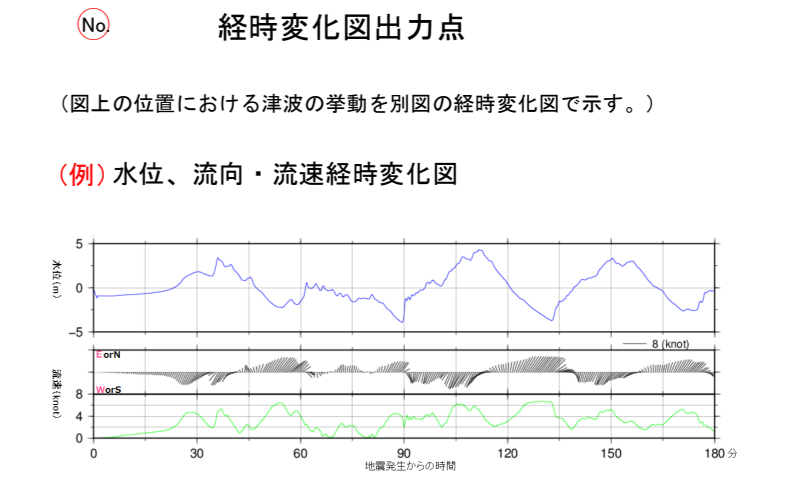


座標系：メルカトル図法  
測地系：世界測地系 (WGS84)

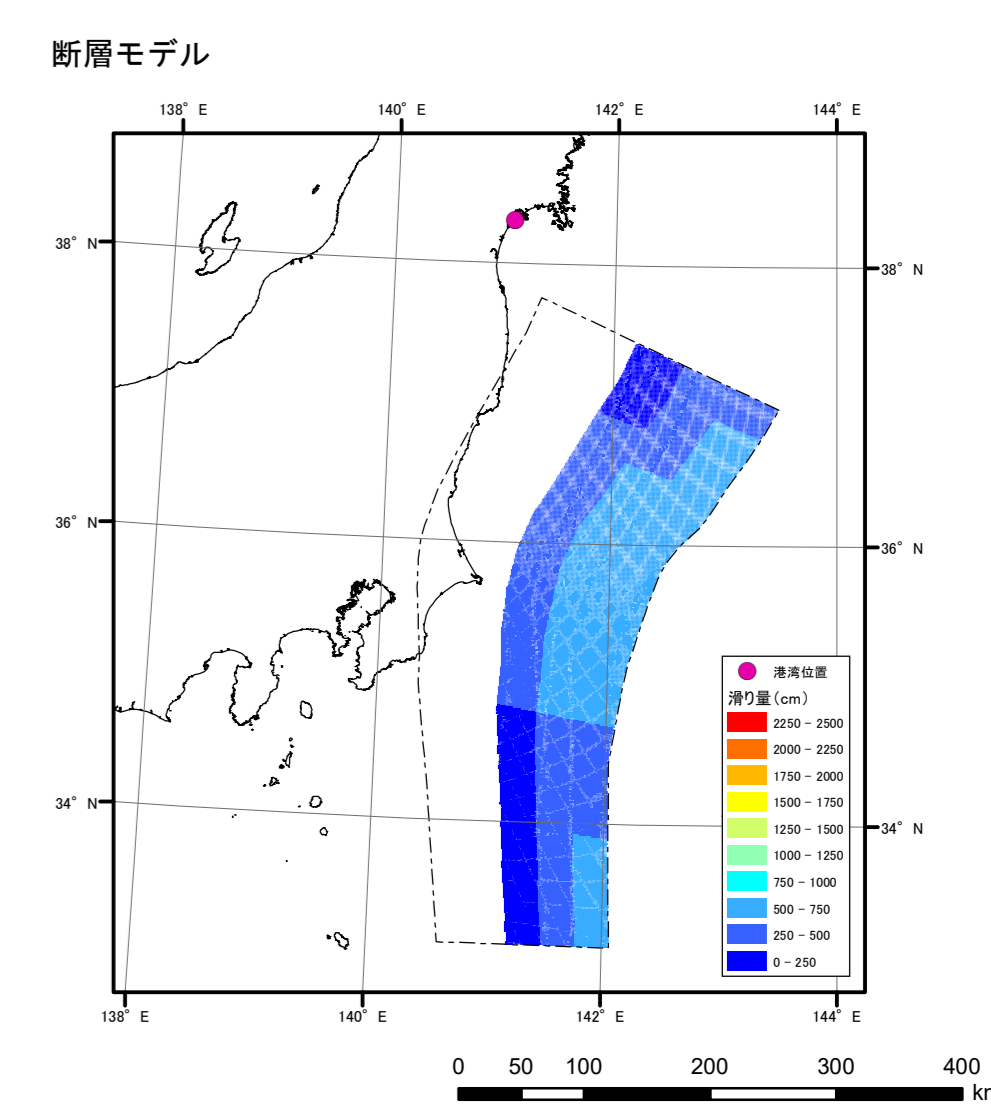


凡例

- 最大水位低下
  - 3~最大4.7m
  - 2~3m
  - 0.5~2m
  - 0.5m未満
- 干出域
- 露出域



- 引潮時最大流 [knot]
- 3 knot
  - 2 knot
  - 1 knot
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。



延宝房総沖地震

モーメントマグニチュード Mw 8.5

本断面モデルは、内閣府の「首都圏下地震モデル検討会」(平成25年12月19日発表)により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
・海上保安庁が保有する水深データ  
・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像)(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平28情保 第1374号 平成29年3月10日)

作成機関：海上保安庁  
防災情報図作成年月：平成29年7月(初版)  
地形データ作成年月：平成29年1月(初版)